| | 10220203 町民税賦課事務 | | 所管課 | 総務部 税務課 | 事業年 | 度 | 令和4年度 | 事業区分 | _ |
|------|----------------------|----|----------|------------------------|------|---------|----------|-------|---|
| 事業名 | | | 根拠法令 | 地方税法、粕屋町税条例、粕屋町税条例施行規則 | 1 子質 | [科目 | 会計款 | 項目最調力 | |
| | | | 行政計画 | なし | l l | -171 日 | 一般会計 2 | 2 1 | 貝 |
| 基本目標 | 4 健全で持続可能な行政経営をめざすまち | 政策 | 2 健全な財政運 | 営のまちづくり | 施策 | (1) 持続可 | 丁能な財政基盤の | 強化 | |

1. 事務事業の取組方向

前期基本計画の主な取組と成果

○社会保障関連経費や公共施設の改修などの支出が増加する中、財源の確保と全庁的な視点での財源調整を行うことで適正な予算配分を行い、財源不足による基金の取崩しを最小限に抑えるよう努めました。

後期基本計画のまちづくりの課題と展望

○今後も社会保障関連経費の増加、公共施設の改修など支出の増加が見込まれており、財源の確保と適正な予算配分に努め、基金取崩しに依存しない財源の確保や計画的な財政運営に取り組む必要があります。

後期基本計画中における事務事業の取組方向

○適正かつ公正な課税を行い、安定的な自主財源を確保していく。

2. 実施計画(PDCAサイクル)

計画(Plan)

事業日的

○適正かつ公正な課税を行い、安定した自主財源を確保する

計画(Plan)

実施方法

〇個人、事業所等から提出される課税資料を基に、地方税法及び税条例に規定された税率 で課税を行う。

○未申告・未届の法人、個人について現地調査を行い税の適正化と公平化を確保する。 ○確定申告受付について、予約制を導入し納税者の待ち時間を減らす。

〇確定申告書の処理について、職員によるパンチ入力を止め、eLTAXと基幹系システムとの間でデータ連携を行い、業務の効率化を図る。

実施(Do)

| | ン に (し 0 / | | |
|---|--------------|---------|--------|
| | | 事業費(千円) | |
| | 年度 | R3決算額 | R4決算額 |
| - | 歳出 | 17,727 | 14,820 |
| | 歳入 (特定財源) | 0 | 300 |

実施(Do)

実施結果

〇個人住民税、法人住民税ともに、確定申告書などの課税資料に基づき適正 な課税を行った。確定申告書の入力作業におけるデータ連携システム・確定申 告受付における新たな予約システムを導入し、加えて、包括業務委託職員の雇 用人数を増員し、業務の振り分けを行ったことにより、業務の効率化が進み、職 員の負担軽減、時間外勤務の削減に繋がった。

評価(Check)

>

〇未申告の個人についてははがきの送付により勧奨を行ったが、未申告・未届 法人の調査については把握できたものへの対応のみとなり、新規の未届法人に 関しては調査を行うことはできなかった。

課題

○職員及び包括業務委託職員の業務の振り分けについて、今後も効率的に業務を進めるため、今年度の試みを生かして仕組みを作る必要がある。

改善(Action)

改善方法

〇担当職員の知識習得だけでなく、課税時期の業務内容のチェックと見直しを 早い時期に進め、変更点や確認事項をOJTを活用して担当職員全員が把握する。

○未届新規法人の現地調査を行い、申告勧奨を実施する。

3. 事業フロー(ロジックモデル)

①結果のアウトプット(どのような活動を行うのか)

○住民税の課税

②効果のアウトプット(活動の結果どうなるのか)

○適正かつ公平な課税が実施される。

③アウトカム(町としてどうなるのか)

○安定した自主財源の確保が見込まれる。

| 活動指標(アウトプット) | 年度 | R1年度 | R4年度 | R7年度(最終) |
|--------------|-----|--------|--------|----------|
| 個人町民税納税義務者 | 目標値 | | 24,600 | 26,400 |
| | 実績値 | 23,427 | 24,843 | |
| 単位: 人 | 達成率 | | 101.0% | 0.0% |
| 法人町民税納税義務者 | 目標値 | | 1,645 | 1,720 |
| | 実績値 | 1,584 | 1,732 | |
| 単位: 人 | 達成率 | | 105.3% | 0.0% |

| 成果指標(アウトカム) | 年度 | R1年度 | R4年度 | R7年度(最終) |
|-------------|-----|-----------|-----------|-----------|
| 個人町民税調定額 | 目標値 | | 2,570,000 | 2,600,000 |
| | 実績値 | 2,551,525 | 2,757,494 | |
| 単位: 千円 | 達成率 | | 107.3% | 0.0% |
| 法人町民税調定額 | 目標値 | | 512,500 | 550,000 |
| | 実績値 | 752,591 | 657,844 | |
| 単位: 千円 | 達成率 | | 128.4% | 0.0% |

| | 10220204 | | 所管課 | 総務部 税務課 | 事業年 | 度 | 令和4年度 | | 事業区分 | _ |
|------|----------------------|----|----------|------------------------|-----|---------|--------|------|-----------|---|
| 事業名 | 固定資産税賦課事務 | | 根拠法令 | 地方税法、粕屋町税条例、粕屋町税条例施行規則 | 로 쎁 | [科目 | 会計 | 款 | 項目賦課 | 弗 |
| | 回足貝左忱與硃爭伤 | | 行政計画 | なし | l A | -17-11 | 一般会計 | 2 | 2 1 | 貝 |
| 基本目標 | 4 健全で持続可能な行政経営をめざすまち | 政策 | 2 健全な財政運 | 営のまちづくり | 施策 | (1) 持続可 | 可能な財政基 | 生盤の引 | 強化 | |

1. 事務事業の取組方向

前期基本計画の主な取組と成果

○社会保障関連経費や公共施設の改修などの支出が増加する中、財源の確保と全庁的な視点での財源調整を行うことで適正な予算配分を行い、財源不足による基金の取崩しを最小限に抑えるよう努めました。

後期基本計画のまちづくりの課題と展望

○今後も社会保障関連経費の増加、公共施設の改修など支出の増加が見込まれており、財源の確保と適正な予算配分に努め、基金取崩しに依存しない財源の確保や計画的な財政運営に取り組む必要があります。

後期基本計画中における事務事業の取組方向

○適正かつ公正な課税を行い、安定的な自主財源を確保していく。

2. 実施計画(PDCAサイクル)

計画(Plan)

事業日的

○適正かつ公正な課税を行い、安定した自主財源を確保する。

計画(Plan)

実施方法

○賦課期日における課税客体(土地、家屋、償却資産)を正確に把握し、固定資産評価基準に基づき適正な価格決定を行う

○実地調査等により正確な現況把握に努め税の適正化と均衡化を確保する ○軽自動車税関係手続の電子化に向けた整備を行う

実施(Do)

| | | 事業費(千円) | |
|---|--------------|---------|--------|
| | 年度 | R3決算額 | R4決算額 |
| - | 歳出 | 9,978 | 25,677 |
| | 歳入 (特定財源) | 0 | 0 |

実施(Do)

実施結果

○家屋調査については、引き続き酒殿地区開発に伴い例年より調査件数が多い中、係内でスケジュールを共有・調整しながら、前年より余裕をもった計画的な調査ができ、適正な課税に繋げることができた。

○軽自動車税関係の電子化に伴う軽JNKS・軽OSSの導入について、試験等を 経て適正な運用を開始することができた。

評価(Check)

課題 上地・家屋・償却と担当がそれぞれ

○現在、土地・家屋・償却と担当がそれぞれ決まっており、担当以外の業務については業務の詳細までは把握できていない状況であるため、それぞれの業務の 課題等を係全体で共有していく必要がある。

改善(Action)

改善方法

○担当以外の研修にも積極的に参加する。

○それぞれの業務で課題が発生したときは、係全体で情報を共有し、担当業務 以外のスキルアップにも取り組む。

3. 事業フロー(ロジックモデル)

①結果のアウトプット(どのような活動を行うのか)

- ○固定資産税の課税○軽自動車税の課税
- ○町たばこ税の課税

②効果のアウトプット(活動の結果どうなるのか)

>

>

○適正かつ公平な課税が実施される。

③アウトカム(町としてどうなるのか)

○安定した自主財源の確保が見込まれる。

| 活動指標(アウトプット) | 年度 | R1年度 | R4年度 | R7年度(最終) |
|--------------|-----|--------|--------|----------|
| 固定資産税納税義務者 | 目標値 | | 13,000 | 13,200 |
| | 実績値 | 12,826 | 13,132 | |
| 単位: 人 | 達成率 | | 101.0% | 0.0% |
| | 目標値 | | | |
| | 実績値 | | | |
| 単位: | 達成率 | | | |
| <u> </u> | | | | |

| 成果指標(アウトカム) | | 年度 | R1年度 | R4年度 | R7年度(最終) |
|-------------|--------|-----|-----------|-----------|-----------|
| 固定資産税調定額 | | 目標値 | | 3,164,000 | 3,250,000 |
| | | 実績値 | 3,023,867 | 3,211,826 | |
| 単位: | 単位: 千円 | | | 101.5% | 0.0% |
| | | 目標値 | | | |
| | | 実績値 | | | |
| 単位: | 千円 | 達成率 | | | |